

(1) 体制

スタッフは常勤の介護支援専門員1名（管理者兼務）の体制で、介護保険での居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、また、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設等と連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

(2) 実績

大項目	小項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実績	相談件数	4	7	8	5	8	12	7	7	3	12	10	5	89
	契約者数	35	33	32	33	33	34	36	36	36	35	36	37	416
	新規契約者数	2	0	3	2	0	2	2	0	2	1	2	1	17
	契約解除(死亡、入所など)	0	2	4	1	0	1	0	0	2	2	1	0	13
	実績者数	31	32	31	31	30	33	33	34	33	30	35	34	387
	委託者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	介護保険申請代行	2	3	9	2	4	5	4	5	4	1	6	1	46
	申請・書類提出	14	9	16	9	9	19	17	16	18	15	13	14	169
	事業所等との連絡・調整	88	120	104	95	78	90	83	91	91	100	58	67	1059
	カンファレンス担当者会議	5	7	11	11	9	14	18	13	14	11	12	17	142
居宅訪問回数	37	39	44	40	43	46	40	44	42	42	44	45	506	
相談経路	本人・家族	0	3	4	1	2	6	3	1	0	8	8	2	38
	関係機関	0	0	0	0	2	3	3	3	0	2	0	1	14
	医師	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	6
	MSW	4	3	3	2	4	2	0	2	2	2	2	2	28
	看護師	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
リハ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

2016年度の延べプラン作成件数は委託（要支援者の計画作成数9件）を含め387件で、昨年度より36件増加した。また、緩和ケアを行っている利用者のプランを2名作成し、うち1名は自宅での看取りも支援した。実績者数は開設以来初めて月平均30名以上を達成することができ、単月では35名に到達する月もあった。

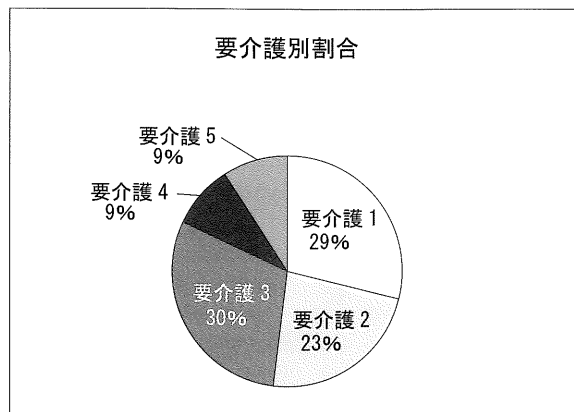
相談・介入依頼は89件で家族、MSWからの相談・依頼が多かった。内容としては、介護保険の説明・申請手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は46件（新規・更新）であった。

契約解除の理由としては、要介護から要支援になった方が3名、在宅生活が困難になり病院、施設（老人保健施設、特別養護老人ホーム等）に入所した方が3名、転居が1名、最も多かったのが死亡の6名であった。

居宅契約者の地域別の割合としては宇城市三角町、上天草市大矢野町が中心であり（宇城市47%、上天草市52%、宇土市1%）、男女比の割合でみると女性の割合が高かった（男性37%、女性63%）。

要介護度別に見ていくと要介護度1・2が52%を占めており、介護度が重くなるにつれ在宅生活は厳しくなってい

くが、要介護度4・5も18%を占めた。



世帯別で見えていくと単身世帯が3件、夫婦二人暮らしの世帯が11件、家族同居世帯が23件で（うち3件は子供との二人暮らし）、有料老人ホーム入所者が7件であった。単身で不安を抱えながら生活していたり、老老介護で体力・精神的な負担がとて大きく、介護者が倒れてしまうと在宅生活が困難になってしまうというリスクを抱えながら、毎日必死に生活されている世帯が多かった。

(3) 次年度の計画

当院周辺地域は単身世帯、老老介護世帯の増加、高齢化率の上昇が著しい地域であり、社会資源も少ないため、介護が必要な状態になっても安心して住み慣れた地域で生活できるよう、引き続き関係機関との連携を密に生活のサポート・介護者の負担軽減を図っていきたい。

また最後に、実績者数を35名/月と安定させ、介護支援専門員の増員を目指していきたい。